

財務省第2入札等監視委員会 令和3年度第2回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和3年12月13日（月）東北財務局7階第一会議室	
委員	委員長 青木 雅明（東北大学 会計大学院 教授） 委員 高木 龍一郎（学校法人東北学院 常任理事） 委員 成田 由加里（公認会計士）	
審議対象期間	令和3年7月1日（木）～令和3年9月30日（木）	
抽出案件	4件	（備考）
競争入札（公共工事）	1件	契約件名：青森第二合同庁舎電話交換設備更新工事 契約相手方：扶桑電通株式会社青森営業所（法人番号6010001055706） 契約金額：5,159,000円 契約締結日：令和3年7月14日 担当部局：仙台国税局
随意契約（公共工事）	1件	契約件名：能代税務署青葉宿舎給水設備・物置更新その他工事 契約相手方：藤重建設株式会社（法人番号4410001002231） 契約金額：34,100,000円 契約締結日：令和3年7月2日 担当部局：仙台国税局
競争入札（物品役務等）	2件	契約件名：(R03)榴ヶ岡住宅ほか19住宅消防用設備等点検その他業務 契約相手方：株式会社櫻井防災（法人番号8370001003073） 契約金額：5,940,000円 契約締結日：令和3年8月4日 担当部局：東北財務局
		契約件名：(R03)春日町住宅ほか13住宅給水施設清掃等業務 契約相手方：光成アクア工業株式会社（法人番号8380001020563） 契約金額：1,210,000円 契約締結日：令和3年7月8日 担当部局：東北財務局福島財務事務所
随意契約（物品役務等）	一件	—
応札（応募）業者数1者関連	1件	※(R03)春日町住宅ほか13住宅給水施設清掃等業務に同じ
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答
	次葉のとおり	次葉のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【事案1】 契約件名：青森第二合同庁舎電話交換設備更新工事 契約相手方：扶桑電通株式会社青森営業所 （法人番号6010001055706） 契約金額：5,159,000円 契約締結日：令和3年7月14日 担当部局：仙台国税局</p> <p>予定価格の設定は適正だったと判断しているのか。</p> <p>辞退・不参加とした業者について理由は何か。</p> <p>納入機器について、仕様を満たしているかどうかは確認しているのか。</p> <p>長年使用する機器となるため、年を経るごとに何かしらチェックするということはないのか。</p>	<p>近年の納入実績における納入率を基に、予定価格を算定しており、予定価格は適切に積算したと考えている。</p> <p>本事案については、落札業者が取引メーカーと特約店という関係に基づいて機器本体が安く納入されたことが、落札率が低くなった要因の大きなところであると分析している。</p> <p>入札を辞退した業者からは、メーカーが指定されていると勘違いしたと聞いている。</p> <p>また、不参加の業者からは一部仕様を満たすことができなかったと聞いている。</p> <p>納入に当たっては、事前に承諾願を提出してもらい、その内容が仕様と合致しているか確認したところで納入を了承している。</p> <p>別途契約する総合ビルメンテナンス業者が、毎年の保守点検において機器の確認・チェックを行っている。</p>
<p>【事案2】 契約件名：能代税務署青葉宿舎給水設備・物置更新その他工事 契約相手方：藤重建設株式会社 （法人番号4410001002231） 契約金額：34,100,000円 契約締結日：令和3年7月2日 担当部局：仙台国税局</p> <p>応札業者について、辞退・不参加となった理由は何か。</p>	<p>入札を辞退及び不参加とした業者からは、「他の入札工事を受注したことで現場代理人が確保できなくなった」「工期が県の入札工事と重なる繁忙期のため調整が困難となった」と聞いている。</p>

意見・質問	回答
<p>【事案3】 契約件名：(R03)榴ヶ岡住宅ほか19住宅消防用設備等点検その他業務 契約相手方：株式会社櫻井防災 (法人番号8370001003073) 契約金額：5,940,000円 契約締結日：令和3年8月4日 担当部局：東北財務局</p> <p>宮城県内の入札参加者が1者のみとなっている要因は何か。</p> <p>業務期間を長くすれば、入札参加者が増えるということは考えられないか。</p> <p>【事案4】 契約件名：(R03)春日町住宅ほか13住宅給水施設清掃等業務 契約相手方：光成アクア工業株式会社 (法人番号8380001020563) 契約金額：1,210,000円 契約締結日：令和3年7月8日 担当部局：東北財務局福島財務事務所</p> <p>1者応札となった要因は何か。</p> <p>福島県以外の県についても一括して受注できる業者が少ない状況にあるか。</p> <p>【総評】 (事案1) 落札率が低すぎるような特殊なケースの場合は、今後のことも考えて丁寧に調査・聴取をしていただきたい。 また、今回のようなことを防ぐためにも、業者への説明を充実させるとともに、情報収集を行っていただきたい。</p>	<p>入札参加を見送った6者からは「他業務の対応で人繰りがつかない。」のほか、「他工事で資材調達が遅延しているしわ寄せで、年度後半は多忙となる。」などと聞いており、他の受注案件で多忙なことから、参加しなかった業者がいたものと考えている。</p> <p>業務期間は8か月間であり、業務履行には十分な期間であると認識しているところだが、ご指摘を踏まえ、現状よりも長めに設定するよう努めて参りたい。</p> <p>業者からは「給与などが好条件である原発関連業務に作業員が集中しており、人手不足に拍車がかかっている。」のほか「業務場所が県内に点在しており、受注可能業者は少ないと思われる。」などと聞いており、福島県は特に人材確保が難しいことや、業務場所が広範囲に亘っていることが要因と考えている。</p> <p>入札のあった宮城県及び岩手県では3者が参加しているが、両県も面積が広いため、同様の状況であると考えている。 また、契約金額の規模が小さいことや、作業員は事前の検便結果及び作業当日の体調が正常である必要があり、受注に積極的な業者が少なかったものと考えている。</p>